

「障がい者福祉の体験」

担当教員名 朝比奈 茂／宮川 路子

1 コースの概要

日 程	2013年8月4日～31日
場 所	群馬県安中市 「ゆきわりそう」の山荘内にて
参加人数	8人

2 コースの目的

障がい者との合宿を通じて寝食および行動をともにすることで、人間としての生き方を実感する。また福祉活動における仕事内容、それに携わっている方々と意見交換をすることで、現在の福祉環境について理解を深める。

3 事前学習

NPO 法人「ゆきわりそう」より担当者をお招きし、本体である「ゆきわりそう」の組織や活動内容、また障がい者の身体的および精神的特徴について説明を受け理解を深めました。次に開講するプログラムの説明を受け、各自の興味や関心に沿って参加プログラムを決定しました。後日、「ゆきわりそう」のプログラム責任者と連絡をとり、各自練馬区にある施設に出向き、事前打ち合わせ（学習）を行いました。

4 行程（内容）

8月4～6日

・マラソン2

対象者：知的障がい児及び障がい者

8月7～9日

・ソフトスポーツ ・ゴロ野球1

対象者：知的障がい児及び障がい者、肢体不自由者

8月11～14日

・マラソン1 ・絵画

対象者：知的障がい者、肢体不自由者

8月15～17日

・ゴロ野球2 ・ソフトクリーム

対象者：知的障がい児及び障がい者、肢体不自由者

8月19～22日

・クレヨン ・遊び塾

対象者：知的障がい児及び障がい者

8月23～25日

・レッツ音楽

対象者：知的障がい者、肢体不自由者

8月23～26日

・和太鼓

対象者：知的障がい者、肢体不自由者

8月26～28日

・ハーフマラソン

対象者：知的障がい者

8月27～30日

・ジョギング

対象者：知的障がい者

8月29～31日

・ことばの教室

対象者：言葉に不自由を感じている方

5 事後学習

事前学習同様に「ゆきわりそう」から担当者をお呼びして事後学習会を開催しました。当日は、課題である「感想文」および「フィールドノート」を持参し、各自が行った活動を共有すること目的に行いました。ペアになって互いに体験した情報をインタビューし、1,000字程度にまとめ、相手の体験活動を発表しました。最後に担当者より全体の講評を行って頂き終了しました。

6 雑感

本フィールドスタディは、本年3月に退職した堀内行蔵教授より受け継いで行ったプログラムであり、学部創設以来、現在まで行われてきたロングラン・プログラムです。

人間の成長段階における最終章となる大学生。この時期に、普段接することの少ない、障がい者と寝食をともに行うことは、人間を人間として理解することのできるプログラムであると感じています。物事がスピードを最優先として動いている今日において、そのような世界とは別に過ごしている障がい者の方々の生き方を学ぶことは、学生たちに新たな視点や感性を与えることとなるでしょう。